

令和4年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

観光・地域ブランド推進課

1 施設の概要等

施設名	府中市文化センター		
所在地	府中市府川町70番地		
設置目的	市民の生活、文化の向上と福祉の増進を図る		
施設・設備	センター建物		
指定管理者	R4.4.1	～	R9.3.31 株式会社賛興

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)	
	R4	120,000 人	98,130 人	-35,160 人	-21,870 人	81.8%
R5		人	人	人	人	%
R6		人	人	人	人	%
R7		人	人	人	人	%
R8		人	人	-	人	%
増減理由	・大規模なイベントの開催が予定されていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止・延期となり利用者が減少となった。 ・ワクチン接種で来場する方が減少した。 ※目標値(事業計画)の数値はR4年度の目標設定シートによる。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
		利用者アンケートBOXの設置
	自主事業アンケート実施	事業開催時に受付に設置
	【主な意見】	【その対応状況】
	・コロナが明けたらたくさんの催しの開催を期待する。 ・思いっきり笑える、泣けるような催しを期待する。	検討中。
	・空調の効きが良くない(特に冷房)	

4 市の業務点検等の状況

項目		実績	備考		
報告書	年度	○	実績報告書		
	月報	○	月次利用実績報告書		
	日報(必要随時)	○	修繕完了報告書		
管理運営会議	【特記事項等】				
1回 会場	府中市文化センター	前年度の事業報告及び今年度の事業計画、その他修繕状況などの報告。また、運営について委員との意見交換をおこなった。			
現地調査 (実施月)	【指定管理者の意見】				
1月	2月	3月	4月	5月	【市の対応】
6月	7月	8月	9月	10月	
11月	12月				

5 市委託料の状況

(単位:千円)

市委託料 (決算額)	年度	金額	対前年度増減	料金収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減
	R4	25,850	-223		R4	24,396	5,055
R5	25,850	0	R5				
R6	25,850	0	R6				
R7	25,850	0	R7				
R8	25,850	-	R8		-		

6 管理経費の状況

(単位:千円)

項目		R3決算額	R4決算額	対前年度比	主な増減理由等
委託事業	収入				
	市委託料	26,073	25,850	-223	指定管理委託プロポーザルにより契約金額が下がった
	料金収入	19,341	24,396	5,055	会議室等をワクチン会場として貸し出したことによる収入の増加
	その他収入	3,743	278	-3,465	コロナ支援金がなくなったため
	計(A)	49,157	50,524	1,367	
	支出				
	人件費	16,088	15,526	-562	イベント減により人員配置が不必要だったため
	光熱水費	9,387	11,922	2,535	コロナが落ち着いたことによるリアルでの会議等が増加したため
	設備等保守点検費	11,920	12,345	425	物価の上昇による増加
	清掃・警備費等	3,087	4,207	1,120	物価の上昇による増加
施設維持修繕費	432	733	301	施設の老朽化により増加	
事務局費	475	1,221	746	コロナが落ち着いたことによりイベントの開催が増加したため	
その他支出	2,243	1,945	-298	公課費が減少したため	
計(B)	43,632	47,899	4,267		
収支①(A-B)	5,525	2,625	-2,900		
自主事業					
収入(C)	298	316	18	コロナが落ち着いたことにより参加者が増加したため	
支出(D)			0		
収支②(C-D)	298	316	18		
合計収支(①+②)	5,823	2,941	-2,882		

※1 利用料金制

公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。

指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業

指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
総括	<ul style="list-style-type: none"> ・管理、運営基本方針の「管理・運営にあたっての基本的な考え方」に掲げる運営を目指し業務に取り組み、安全な管理運営に努めてきた。特に、コロナ禍で施設内での発生、感染を防ぐために、三密を避け、消毒、喚起を徹底してきた。 ・弾力的、効果的な運営を行い、経費の削減に努めている。 ・目標管理シートに掲げた大ホールでの年6回程度の自主事業は4回(本番)実施。 	<p>利用者が安心、安全に利用できるよう運営されている。経営もコロナの影響により収支は下がってはいるものの、黒字化しており、状況に応じて無理なく効果的な運営が行われている。</p>

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	市
課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・経年劣化が著しく、各所で不具合が生じているため、日ごろから早めの点検、処置を行う。 ・コロナの影響で休止や中止をしている自主事業の再開を求める多くの声に応え時代に合った内容に編成し再開に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建築されて40年近くなる施設のため、経年劣化が著しく、各所で不具合が生じているが、日頃より点検、報告、補修処理の調整が市と共有できており、業務が適切に行われ利用者にストレスなく利用されている。 ・施設は令和5年度から3年をかけ耐震工事を行うが、工事の対象とされていない箇所への老朽化、それによる修繕費増が懸念される。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントを自粛していたが、令和5年度は自主事業を多く計画されており、コロナ明けの巻き返しが期待できる。